



図1 平成14年度に開発した海底部リピータ型トランスポンダの設置システム. 平成13年度の開発では10,000mまでの超深海底用としてチタン製円筒型耐圧容器を使用した¹⁾が, 平成14年度は計測部をガラス球に収容して水深6,000m程度の深海底での計測用とした. 計測部は13年度のをさらに改良した.



図2 海洋科学技術センターの無人探査機「かいこう」の調査航海により観察された高精度トランスポンダーの着底状況.

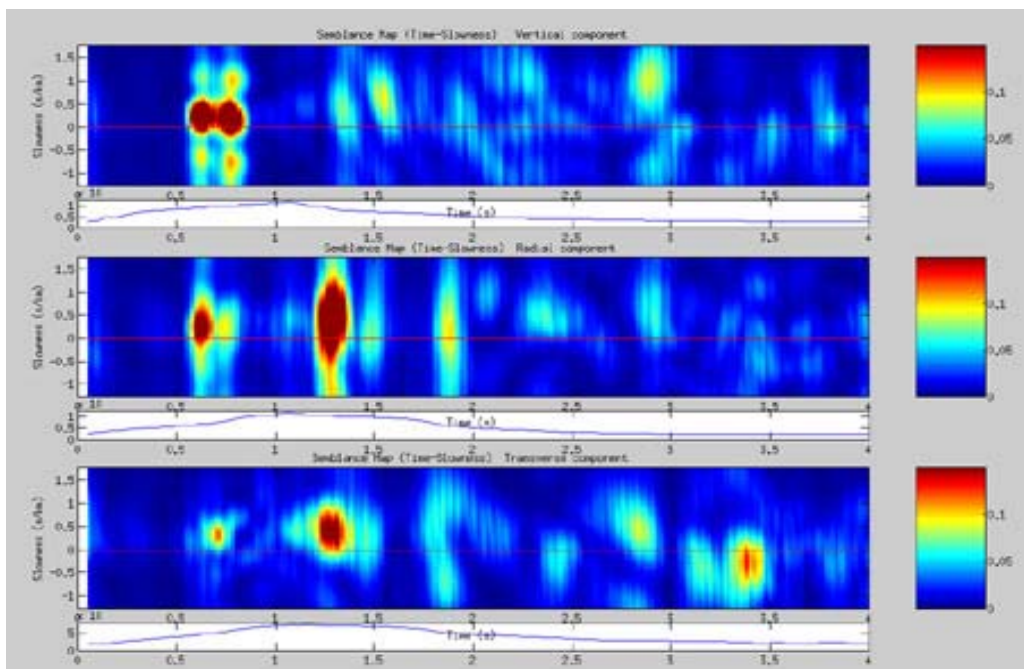


図3 名古屋大学の瑞浪地殻変動観測所におけるアレイ観測結果(センブランス値として表してある).